

目 次

1. ご挨拶	
栃木県歯科衛生士会会長 中 村 美智子	1
(一社) 栃木県歯科医師会会長 赤 沼 岩 男	2
2. 令和3年度 研修会	3
3. 栃木県歯科医学会発表	6
4. 令和3年度 情報交換会	7
5. 受賞者報告	8
6. 講習会受講報告	9
7. リレーエッセイ DH のひとりごと	12
8. 地域歯科保健指導委任状授与者	13
9. 地域歯科保健事業の報告	14
10. 栃木県歯科衛生士会支部紹介	15
支 部 長 会	15
足利・佐野支部	16
小 山 支 部	17
下 都 賀 支 部	18
鹿 沼 支 部	19
日 光 支 部	20
宇 都 宮 支 部	21
芳 賀 支 部	22
県 北 支 部	23
11. 栃木県歯科衛生士会 令和4年度役員	24
12. 問い合わせ・ご案内・編集後記	25



ご 挨拶

栃木県歯科衛生士会

会 長 中 村 美智子

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の運営ならびに事業活動にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。また、栃木県歯科医師会をはじめ行政及び関係諸団体の皆様におかれましても格別のご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、新たな方法で事業活動再開を行った一年でありました。生涯研修会につきましては、5日間視聴可能なオンデマンド配信を日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度認定更新研修として3回開催いたしました。遠方の他県歯科衛生士会会員の皆様にも受講いただき単位取得のお役に立てましたことは、本会といたしましても嬉しく思っております。また、近隣の歯科衛生士養成校にご案内をいたしましたところ授業に取り入れてくださいました養成校もあり、視聴した学生から熱心な感想や質問をいただきました。歯科衛生士という職業を選択し資格取得のために勉学に励む学生達をより身近に感じて、我々の卒後継続学習の重要性とともに、これからの時代を支えてくれる歯科衛生士のためにも、組織力を強化して発展していく歯科衛生士会となるように努める責務を感じました。

地域歯科保健活動におきましては、依頼元と連携して感染予防対策を重視しながら執務を継続しております。急速な高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の高度化・多様化等で歯科衛生士を取り巻く環境が日々変化しております。私たち歯科衛生士にとって、県民の歯・口腔の健康づくりを支援し、口腔機能および口腔衛生の向上を担う専門職として、人々の健康と生活の質の向上に貢献していくことが大切です。栃木県歯科衛生士会では、本会より依頼の歯科保健事業を担当する方々に、資質向上に努めたことを確認した上で地域歯科保健指導者委任状を授与しております。今後さらに、各方面からの様々な依頼に対応できる多くの優れた人材育成が必須です。日本歯科衛生士会や本会からの情報を活用していただき、また、会員同士で情報交換をしてスキルアップし、より多くの皆様に事業活動への参加をしていただきたいと思いますと思っております。

ここに令和3年度活動報告をさせていただきます。未入会歯科衛生士の方々に本会の事業活動を知っていただき、一緒に研鑽を積んでいく仲間が増えることを望んでおります。是非とも、皆様のお近くにいらっしゃる歯科衛生士にお声がけをしていただき、栃木県歯科衛生士会への入会をお勧めしていただけますようお願いいたします。

今しばらくは、様々な制限がある中での事業活動になりますが、皆様のお役に立てる歯科衛生士会でありますよう努めて参ります。ご指導ご協力をお願い申し上げます。



ご 挨 拶

(一社) 栃木県歯科医師会

会 長 赤 沼 岩 男

栃木県歯科衛生士会の皆様には、いつも本会の運営に対し、ご理解、ご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。ここ最近、新型コロナウイルス感染拡大も落ち着きを見せております。コロナ禍最中の事業は、中止を余儀なくされましたが、現在は、対面形式の集会や事業等も復活して参りました。やはり、マスクを外して、相手と向き合って、コミュニケーションを取るという事は、いいものであります。一方、WEB方式も、コロナ禍で学んだ一つの事例として捨てがたい事であると思っております。まだ油断はなりませんが、今後の社会の活性化に期待しております。さて、今回の国の骨太方針に、歯科・口腔の文言がさらに追加され、又、国会内には、国民皆歯科健診議連、国民歯科問題議連、スポーツ歯科支援議連が設置されております。今、口腔の全身に及ぼす影響が明かになってきている状況で、益々、我々歯科チームとしての連携は、もちろん、他職種との連携も非常に重要であります。まずは、貴会と本会とは、二人三脚という関係をしっかりと持っていなければなりません。目下、フレイル予防の一環として、後期高齢者歯科健診事業を、各郡市単位で、集団健診化を目指し、健診内容も、デジタル化等で統一をはかり、データ化し、保健指導にも力を入れていこうという企画展開中であります。これも、貴会のお力をお借りしなければなりません。全身のフレイルは、口のフレイルからという事で、一人でも介護を必要としない人を増やす、いわゆる健康寿命を延ばすのは、我々、歯科医療の持つ所、大と考えております。

『健全なる肉体は、健全なる口腔に宿る』

『命の根源は、己の口で食することなり』

『からだは、天からの授かり物、鍛えて大切に使い』

これが、私の常々の信条であります。

“ オール栃木で、オーラルフレイル予防を ”

最後に、貴会の今後益々のご発展、ご活躍をお祈り致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和3年度 研修会

第1回生涯研修会

日時	令和3年7月9日（金）9時から7月11日（日）24時まで
開催方法	オンデマンド
講演時間	60分
演題	『歯科衛生士のための口腔粘膜疾患の見方』 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 特定コース 認定更新研修
講師	神奈川歯科大学客員教授 神部 芳則 先生
参加人数	100名（会員92名、非会員8名）



受講者の感想

- *複雑な組織で構成されている口腔粘膜の部位による大きな違いを再確認し、病変の基本的形態の正確な表現記載方法を学ぶことができた。
- *オラドロームという言葉を知った。
口腔から内臓疾患がわかる（全体的自覚症状がなくても口腔粘膜疹によって、全身性疾患が見つかる）ということは、口腔粘膜の状態をよく観察し、口腔粘膜病変を早期発見することは、全身の健康管理においても重要であると感じた。
- *周術期口腔機能管理についての効果、エビデンスを理解することができた。衛生士としてやるべきことは何か、医科歯科と連携することでさらに全身疾患について知識が必要だと感じた。また、口腔機能管理を行うことで患者のQOLを上げることができるので、訪問での口腔ケアにも役立てていきたい。
- *これだけのエビデンスがあることをふまえ、医科との連携により病院だけでなく一般歯科医院でも周術期口腔衛生管理を行っていきたい。
- *口腔粘膜の特徴については解剖図を基に説明をしていただき、どこにどのような粘膜があるかを理解できた。粘膜病変については、今まで潰瘍とびらんの表記に迷っていましたが、両方を併記するケースが多いと分かった。その他の粘膜病変の基本形態も詳しく説明いただけましたので、今後はそのような視点を持って臨床に挑み、正確な記録ができるようにしたい。
- *前癌病変と前癌状態の違いについて何度も説明を聞きなおすことで理解することができた。
- *口腔粘膜＝軟組織といった簡単な捉え方をしていましたが、改めて特徴を理解すると共に口腔は軟組織と硬組織が混在し、常に機械的刺激が加わり食べ物などの異物に接する場所。そして、呼吸器と消化器の共通入り口である。この特殊な環境に置かれた口腔粘膜に生じる様々な粘膜病変についても、その特徴を覚え理解を深めたいと思います。

第2回生涯研修会

日 時	令和3年10月6日（水）9時から10月10日（日）24時まで
開催方法	オンデマンド
講演時間	60分
演 題	『知っておくべき口腔がんの診断と治療』 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 特定コース 認定更新研修
講 師	自治医科大学 医学部 歯科口腔外科学講座 教授 野口 忠秀 先生
参加人数	79名（会員76名 非会員3名）



受講者の感想

- *現場を離れて10年在宅衛生士としてお仕事させて頂いております。口腔がん、白板症は診た事がありますが、潰瘍と癌の区別はわかりませんでした。改めて、野口先生のお話を聴いて、早期発見におけるコツとして、なかなか治らない病変は癌を疑ってみる事が大切だと思いました。鮮明に残っているのは、口腔癌と頸部の手術でした。治療後の患者様が食べられるようになった姿に感激！又、治療不可の場合、モールド照射方法があり、放射線治療後は晩期障害で味覚異常が長く続くと大変辛いという話には、本当に早く回復できることを願い、学ぶ事が沢山あると感じました。受講は自分の都合の良い時間帯で視聴できて良かったです。Webでの受講に不慣れな私は、DH会の皆様の温かいアドバイスをいただいて受講でき感謝しております。
- *口腔がんは、がん全体の1～2%である。口腔がんは遺伝子病で、その他の因子により発症する。口腔扁平上皮癌は、舌が最も多く下顎歯肉、上顎歯肉と続く。口腔がんの罹患者数は増加していて30年前の約3倍という事に驚いた。患者さんのスケーリングやPMTC等で口腔内をみる機会が多い私達がよく観察し注意していくことが大切だと思った。また、拔牙や切開・搔爬などの外科処置は、口腔癌の浸潤や転移を促進し生存を低下させるので注意が必要だと思った。
- *口腔癌は、他の癌に比べて多くの方が聞き慣れていない病名だと思います。その為か、早期の受診が遅れてしまう懸念を感じます。発見が遅れると、手術の規模も大きくなり範囲も広くなること、口腔の重要な機能を低下または失い容貌までを損ねてしまう事を学びました。こうした事からも、早期発見、早期治療が不可欠だと感じました。私は、一般歯科診療所に勤務しています。定期的に検診される患者様の口腔ケア管理をしています。口腔内すべてに目を向け、患者様の異常に早期に気付ける観察意識をたかめられるよう努力したいと思います。また、日頃から気を付ける事をお伝えしていく事も衛生士の重要な役割だと改めて感じます。

第3回生涯研修会

日時	令和4年1月19日（水）9時から1月23日（日）24時まで
開催方法	オンデマンド
講演時間	60分
演題	『症例を通して考える歯周治療～歯周炎新分類も交えて～』 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 特定コース 認定更新研修
講師	足利歯科医師会 久保田歯科医院 久保田 将隆 先生
参加人数	72名（会員70名 非会員2名）



受講者の感想

- *丁寧な説明で分かりやすかった。基本治療の重要性や歯科衛生士の関わり方を強調していただき、モチベーションアップになった。今後も一つ一つの症例を丁寧に考察していきたいと思った。
- *歯周治療を成功させるには、術者の確かな診断・処置と患者さんとの信頼関係の構築が重要であり、歯科衛生士の力量が問われると改めて思いました。
- *新分類について知れたことが良かった。また、ドクターだけでなく衛生士さんの声が聞けたことや、プロービング、口腔内写真撮影の状況が動画で見られて分かりやすかった。
- *歯周病の新分類に基づき治療を行っていく過程が詳しく説明されていて良かったです。歯科衛生士として、歯科医師・歯科スタッフとの連携、細やかな対応、患者さんに寄り添い行動変容を促すことなど、これからの臨床に生かしていきたいと思います。
- *健康な歯周組織の定義・歯周炎の新分類等、新しい知識をえられました。歯周治療の流れや歯周ポケット（上皮歯肉）など、改めて確認できたことも日々の業務に役立てたいです。
- *患者さんに寄り添う事の大切さがわかりました。予約は「人」に会いに来る「約束」の言葉が心に残りました。
- *スタッフの皆様が連携し、患者様に寄り添った治療がなされていることに、人としてすごく温かさを感じ大変勉強になりました。また、歯科衛生士さんからの患者様への関りも聞くことができ、とても参考になりました。
- *1歯単位の診断や歯周炎新分類をすることにより、患者様、ドクター、歯科衛生士と知識の共有ができるということは重要であり大切なことなのだと理解できました。
- *歯周治療の臨床における基本がわかりやすく講義されていて、経験の浅い歯科衛生士さんに是非見ていただきたい内容でした。症例では、患者さんの行動変容につながる指導の成果が顕著に見られて、久保田先生を始め、担当衛生士さんの熱意が感じられました。
- *患者さんに寄り添ったメンテナンスを実現するための選択がある
- *臨床で歯周炎のステージは何となく頭に浮かんでいましたが、恥ずかしながら定義を良く理解していなかったようです。わかりやすく教えていただきありがとうございます。

栃木県歯科医学会発表

日 時 令和3年11月3日（水・祝）
会 場 栃木県歯科医師会館
開催方法 Web 配信

栃木市における「むし歯ゼロ」学校巡回指導の実施報告

栃木県歯科衛生士会 下都賀支部

○吉澤久美子 山名 洋子 上岡 知恵
篠崎 香織 山中 理恵

【緒言】

旧栃木市と歯科医師会で平成2年から平成9年までライオン歯科衛生研究所の協力にて、学校巡回歯磨き指導を実施してきたが、同研究所が事業より撤退することとなり、旧栃木市及び歯科医師会と歯科衛生士会が事業を継続した。今回事業の中で歯科衛生士が指導した内容を報告する。

【目的】

学童期には、乳歯から永久歯への交換が行われるとともに咀嚼や口腔機能の発達する時期でもあり、発達段階に応じた歯や口の健康づくりを進める必要がある。その第一歩として、児童が自分の歯や口の中を観察し、専門家の指導のもとに歯みがきを行うことにより、歯や口の健康状態に関心を持ち、生涯にわたり自らがそれらの健康を保持増進する態度や習慣を身につけるための動機付けとなることをねらいとする。

【対象および方法】

毎年5月～7月に栃木市内の小学校29校1年生を対象に1学級1名の衛生士が担当し、カラーテスターでの染め出しを実施した。歯科衛生士会で作った媒体を使い隣接面や歯頸部の不潔域、萌出途上の第一大臼歯の歯磨き指導を行いむし歯の原因や間食について考え、正しい習慣を身につける。

【考察およびまとめ】

手作りの媒体を使用することで児童の印象にも残りやすく、歯や口の健康に対する意識の向上に繋がったと考える。また、チャートを自分で記入することで、これまでの歯の磨き方を振り返りながら正しい磨き方を知る機会にもなったと考えられる。

自分の歯や口の健康づくりについて知ることは重要であるため、歯科衛生士が楽しみながら学べる工夫をして指導していく必要がある。また、学童期では、基本的な生活習慣を確立させると同時に、生涯の健康づくりのスタートとして「むし歯ゼロ」学校巡回指導を今後も継続していくことが重要である。

なお、令和2年はCOVID-19により中止となり、令和3年はカラーテスター、口腔内での歯磨き指導はできないため、新しい媒体を作成し「噛むことの大切さ」について話をする。



令和3年度 情報交換会

○【第1回】 令和3年9月12日（日）10：00～11：15
とちぎ福祉プラザ401会議室から Zoom 配信

講 演 「災害時のネットワークと安否確認」
・ 鹿沼支部の取り組みの報告
・ 日本歯科衛生士会～栃木県歯科衛生士会の
災害ネットワークの構築について

講 師 栃木県歯科衛生士会 災害支援担当 木村 明子 先生

参加人数 59 名

感想

- * ネットワーク作りの必要性和活用する際の
利便性も含め、実際の例を挙げての
説明が非常にわかりやすかった。
- * 水害、地震に対しての災害時 LINE 解
除の目安・基準について支部内で話
し合う必要があると思いました。
- * 安否確認時のやり取りを極端に箇条書
きにすることも必要だと思った。



○【第2回】 令和3年12月19日（日）
13：00～15：00 Zoom 配信

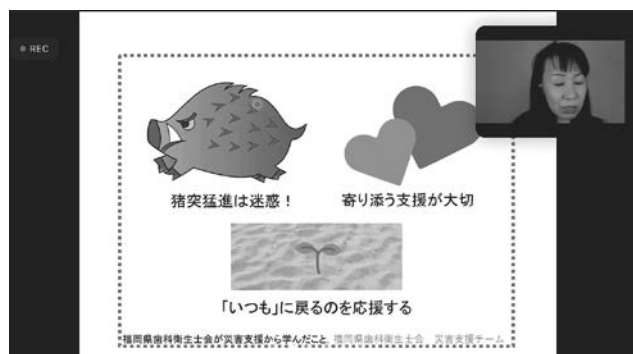
講 演 「災害時の活動について」
～被災地での活動と派遣地での活動～

講 師 栃木県歯科衛生士会 災害支援担当 木村 明子 先生

参加人数 56 名

感想

- * 実際に被災地で活動する時の心構えや被災地の方々への配慮が必要なことが分かった。
- * 被災した時にも医療者として役に立てるよう、今から少しずつ知識をつけていきたい。
- * 支援することばかりをイメージしていましたが、受援側での自分ができる事も大切な支援であることを再確認しました。
- * 災害時、歯科衛生士にどのような役割があるのか、どの時期に必要とされるかが明確になった。



受賞者報告

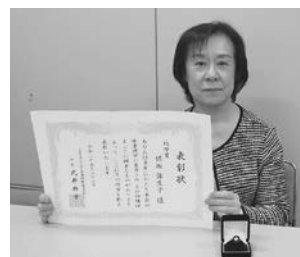
日本歯科衛生士会会長表彰功労賞を受賞して

鹿沼支部 保坂 弥生子

この度は栃木県歯科衛生士会会長の推薦を頂き、日本歯科衛生士会会長表彰功労賞を授与されましたことに感謝申し上げます、ご報告をさせていただきます。
40年余にわたり、歯科衛生士として携わる事が出来ました私にとって、この賞は大変感慨深いものがあります。

一般歯科開業医に勤務した私に勤務地の歯科衛生士会へのお誘いをいただいたのは、実習生としてお世話になった先輩歯科衛生士でした。日々緊張の中、業務に向きあい、いっぱいいっぱいになることも多々ある中で、月1回の会に出向くと当時、「う蝕予防」に取り組む姿も笑顔で前向きで、また活発な会話も飛び交っていました。自然と溶け込むように打ちとけ、リラックスできる空間でもありました。診療室内での歯科衛生士としてだけでなく、子どもたち、妊婦、高齢者、介護者、要介護者、成人に向けた地域歯科保健に向き合うことも多くなり、取り組み方を築くのに欠かせない会となっています。この40年の間に歯科衛生士の必要性は大きく変化しています。近年では、災害支援への取り組み等、歯科衛生士の参加も益々幅広くなり、活動の場が開けています。

これからの歯科衛生士には長期的また視野を広げて「口」、「口腔」を支えて頂きたいと思います。私も地域にかかわりながら、一会員として、会の取り組みに参加していければと考えています。



第61回栃木県公衆衛生大会 保健衛生事業功労者知事表彰を受けて

足利・佐野支部 林 幸子

令和3年9月1日の大会に於いて上記の賞を頂きました。まずは、ご推薦くださいました本会会長、理事の皆さまに御礼を申し上げます。歯科衛生士として今後もしっかり活動するようにとのメッセージ、と重く受けとめております。

栃木県立衛生福祉大学校の前身である、栃木県歯科技術専門学校（養成1年間）卒業後、歯科医院勤務を経て本会に入会し、訪問歯科診療、幼稚園・保育園の事業、乳幼児健診、事業所健診、介護予防教室、ママパパ学級と多くのステージに携わる事ができました。その都度自身の知識や経験不足を強く感じましたが、本会及び日衛の研修会にとっても助けられました。又、永い期間、公衆衛生活動に従事できたのは本会の皆さま、歯科衛生士仲間の皆さまのお陰と深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナの状況が良い方向へ少しずつ向かっていますが、生涯の全身の健康維持を担う歯科衛生士の責務、意義は益々高まっています。共に楽しく活動できますよう願っています。

最後になりましたが、本会の更なる発展と会員の皆さまの活躍を祈念して受賞の詞といたします。



保健衛生事業功労賞受賞者



足利・佐野支部
神谷 祐子



小山支部
田嶋 友香

認定歯科衛生士を取得して 令和3年度摂食嚥下リハビリテーションコースを受講して

小山支部 金子 ひとみ

令和3年度認定歯科衛生士セミナーの摂食嚥下リハビリテーションを受講し、認定をいただきました。10月の認定試験後2月に結果が分かり、やっとホッとできました。

私は行政に勤務しフレイル予防や自立支援等を担当しており、生活の場面に口腔がいかに必要かということを市民の方や介護関係者へお伝えしております。

摂食嚥下について学ぶきっかけは、25年程前に地域歯科保健をされていた先輩歯科衛生士さんが『一緒に勉強をしましょう』とお声がけくださった事でした。その後ケアマネジャー資格を取得して歯科の場面と介護保険の場面に携わることとなりました。それから家族の転勤にて一旦職を離れましたが、8年前に歯科衛生士として再活動した時に、他職種の方から摂食嚥下の必要性を確認される場合も多く、改めて勉強が必要と思いこの受講をいたしました。

もう一つきっかけとなったのは、この研修の講師陣が非常に著名で、私が摂食嚥下について勉強するにあたり書籍を拝読させていただいていた先生方であったため、気持ちが前向きになった要因でした。もし認定を取得できなくてもそのご講義を受講出来るだけでも有難い！などと、ちょっと自分に保険をかけたりしておりました。また、日本歯科衛生士会の講師陣のご講義はweb上でも非常にわかりやすく寄り添ってくださり、歯科衛生士としての見方など必要なことを伝えてくださいました。

研修申し込み時点では集合体も少しは視野に入っておりましたが、コロナ感染状況のため全てwebにて行われました。利点としては研修会場へ出向かずweb期間中に個々で受講するため、自分で時間調整ができたことです。残念だったのは、直接タイムリーにやりとりが出来ないこと、他の受講者はわからないため横の繋がりが出来なかったことです。ただ、栃木県歯科衛生士会の同支部に受講者がいたため、励まし合うことで最後まで頑張れました。

今後どのくらい役立つかは自分次第かと思いますが、知見を得る事でモチベーションも上がり少しの自信を持って関わっていけるため、思い切って受講し本当に良かったと思っております。

会員の皆様も機会がありましたら、他認定も含め受講のすすめをしたいと思います。

日本咀嚼学会「咀嚼と健康を考える」を受講して

小山支部 関 口 智恵子

今回、私が咀嚼について受講するきっかけとなりましたのは、自身の母親の事でした。

歯を失いかめなくなってきたり、咀嚼が難しくなってきたなあ、と思っていたところでした。

講義の中で、「食べる、噛むとは?」「美味しく食べ続けるための毎日の食事の工夫」「好きなものを何でもおいしく食べられる事は健康長寿の礎」と言うことを学びました。

「食べ物を潰す、歯に運ぶ、まとめる」には舌を使います。柔らかい食べ物でも形を大きくすれば、咀嚼機能を使います。この機能を低下させない事は非常に大事なことです。

今後はフレイル、オーラルフレイルについて受講して、主に高齢者の方々の良きアドバイザーになれたらいいなと思っています。

日本障害者歯科第 38 回日本障害者歯科学会（web 開催）を聴講して

日光支部 芳 野 真知子

学会は、いまだ終息のみにえない COVID-19 感染拡大の中、令和 3 年 9 月 25 日から 10 月 11 日まで前年度同様の web 上にての開催となりました。

当学会は「多様性と調和」を主要テーマとしており、歯科医療従事者にとって、障がいのある方の日常を支える福祉への共感と理解が必須であり、障害者福祉と医療の架け橋となる学会の役割は大きいとされています。

その役割を担いつつ、今回は「新しい生活様式と障害者歯科」をテーマに、アフターコロナ・ウイズコロナ時代の中、歯科医療の重要性、歯科医療への期待感に対応すべく多角的視点から興味を惹かれる多くの発表がありました。

聴講を通して、歯科衛生士に求められる知識や技術が高くなっており、自己研鑽に努める必要を痛感させられました。

日本審美学会学術大会に参加して

宇都宮支部 神 永 弘 美

毎年行われている学術大会へ今年は東京有明での開催でしたが、コロナ禍の中現地と WEB での開催で行われ、貴重な臨床現場の生の声を聞かせて頂きました。

『審美』と聞くと、矯正？ホワイトニング？セラミック又はジルコニア？皆様にはこんなイメージではないでしょうか？

『審美』には沢山の症例がありその中の一つの症例の講演をお伺いさせて頂き、衛生士としての立場から学ぶ事ができました。

その症例は『上顎右側良性腫瘍』の診断を受け患者様が術後の機能回復に ISO および顎義歯の作製を行い患者様の Quality of life 心理に寄り添っての治療の講演でした。

腫瘍摘出後は顎欠損を伴い後遺した著明な咀嚼、嚥下、発音機能障害を伴います。回復を図るには ISO から顎義歯が有効ですが大きく欠損された顎には義歯の適合は何度も調整が必要であり、また顔貌の変容も伴いますので整容性も熟慮が必要です。そして社会復帰迄の医療従事者達の連携は欠かせない物であり、言語聴覚士、歯科衛生士にての嚥下訓練、口腔ケアにて機能回復をはかり患者様の Quality of life に繋がった症例の講演を聞く事が出来ました。

参加にあたり、医療従事者として、患者様のケアに立ち、患者様の心に寄り添った医療を改めて痛感させられた学術大会でした。

口腔機能を育む 0 歳からのアプローチ 講習会に参加して

小山支部 東 谷 穂菜美

株式会社ジーシー主催の Web 講習会に参加しました。GC の講習会に参加するのは今回が 2 回目で、前は卒後 1 年目に 1 人で本社まで行くことにも不安を抱きながらの参加であったのを覚えています。今回はコロナ禍ということもあり自宅から好きな時間に参加できる講習会に迷わず申込みました。

受講内容は乳歯萌出前からの口腔へのアプローチがその後の歯列はもちろん嘔吐反射の有無やカリエスリスクにまで影響を与えるということ。そしてその対策のためのスキンシップ方法や、各成長段階に応じた食事、生活の中での注意点について具体的に知ることができました。

今回の講習は子育て経験のない私にとって、さっそく患者さんに伝えたいと思える内容であり、今後の私生活にも活かせる内容ばかりでとても有意義な時間でした。今後も興味のある講習会から積極的に参加していきたいです。

全国訪問歯科研究会（加藤塾）に参加して

足利・佐野支部 柏瀬典子

令和4年3月5・6日の2日間に渡り全国訪問歯科研修会（加藤塾）が開催されました。

訪問歯科のパイオニアである加藤武彦先生、黒岩恭子先生を中心とした勉強会です。

訪問先で歯科治療や口腔ケアを行うだけでなく、その患者さんの生活に寄り添った関わりができる歯科医療従事者を育成する目的があると感じております。

歯科単独ではなく「多職種連携」で、患者さんを中心としたチームとなり QOL の向上を目指す事の大切さや方法を学んだり、最近ではターミナルケアでの歯科（口腔）の重要性や関わりを学んでいます。先生方の精神である「歯科医師、歯科衛生士である前に人であれ。」をモットーに人間として成長していきたいと毎回感じる研究会です。

とちぎ歯の健康センター研修会

県北支部 大金あゆ子

「高齢者・中等障害者の摂食嚥下リハビリテーション」～歯科からの支援について～

2月6日に行われた歯の健康センター主催のオンライン研修を受講致しました。超高齢化社会になり、摂食嚥下の問題は我々歯科医療に携わる者にとって切っても切れないとても重要な問題です。口から食べる機能を考える時、とにかく我々歯科衛生士は、残存する歯数や歯肉などの口腔内環境を重視しがちですが、呼吸・むせ・誤嚥の有無などの全身状態の観察が大切だと改めて思いました。また、認知機能の低下や栄養面に注視すると、食形態や食事量と低栄養状態の可能性などの広い視野を持って患者さんに寄り添うことができる歯科衛生士になりたいと痛感しました。コロナ渦のお忙しい中、ご講演をいただきました野本先生、スタッフの皆さんに感謝します。

フレイルアドバイザー 養成研修会を受講して

下都賀支部 上岡知恵

人生100年時代に寿命だけではなく健康寿命を延ばす為 歯科衛生士に何が出来るのか 何をすべきなのかを考えた研修会でした。

「フレイル」予防において低栄養の問題を解決する事は、欠かせない要素の1つである為に「オーラルフレイル」を予防する事が、重要であると思われます。「オーラルフレイル」つまり、些細な口腔の衰えを見逃さないことが大切であり、日々の診療室で一人一人の患者さんと向き合う事が大切であると感じました。又介護予防教室に参加している高齢者には、1人で食事をしている孤食の方が多くいらっしゃいます。孤食は、フレイルのリスクが高くなるとも言われています。ご自身の変化に気づき口腔ケアを実践してもらえるように、これからも働きかけをしていきたいと強く思いました。

認知症サポーター養成講座に参加して

宇都宮支部 南木昭代

昨年7月さくら市で開催されました認知症サポーター養成講座を受講しました。親の介護を続ける中、地域の方の温かい声掛けや配慮にどれ程助けられたかわかりません。多くの人に支えられて介護が出来たこと、本当に感謝の言葉しかありません。

例えば、町で認知症のお年寄りに道を聞かれた時、認知症を正しく理解していれば、本人の心を傷つけない対応ができます。

認知症サポーターとは、養成講座を通して認知症を正しく理解し、認知症になった人やその家族の気持ちを理解したり、出来る範囲で地域の方にその知識を伝える手助けをしていく方のことです。私もその一人になりたいと思い養成講座を受講し、今後は本講座で学んだ事を実践し、より深く学び続けていきたいと思っています。

リレーエッセイ

DHのひとりごと

小山支部 椎橋 桂子

「今日は何が食べたい？」この言葉、毎日誰に話しかけていると思いますか？・・・私には育ち盛りの中学生の娘がおりますが残念ながら家族にはありません。なぜならば我が家の食事は、ほぼ毎日、私のやる気と冷蔵庫の中身でメニューが決まってしまうからです。(笑)

正解は訪問歯科診療で伺うお宅で院長や私が患者さんに最初に聞く言葉なのです。「かつ丼・鰻重・団子・インスタントラーメン・寿司・ハンバーガー・バニラアイス・イチゴショート」と障害や疾患に関係なく(遠慮なく)聞くだけでも美味しい物の返事が返ってきます。そこですかさず大柄なうちの院長が先日食べたこのハンバーガーは格別だった！とか、この店のまぐろ丼は脂がのっていて最高！などとレントゲンではなく携帯電話で写メした画像を見せて話しが盛り上がるのです。院長の食レポは私より3倍くらい美味しく伝わるので敵いません・・・そしてリクエストのメニューを時には管理栄養士さんの力も借りて食形態などを試行錯誤し夏には汗だく、冬には腰痛になりながらも治療やリハを行った甲斐もあり遂に食べていただけた時「旨い！美味しい！」と笑顔がみられた時の喜びは診療室で例えたならば、小児で何度もトレーニングをしてやっと独りでユニットに座って歯科治療が出来るようになった時の歯科衛生士と付き添いの家族の感動に近いです(私は自分の子ではないのに嬉し泣きしてしまった事があります)怖い歯科医院ではなく美味しい歯科医院をめざして日々お付き合いをしているのです。会っただけで唾液の出てくる間柄になり唾液腺マッサージ要らずになるのが目標です。(これはオーバーですが)

診療室の中での私は「お変わりないですか？お痛みは無かったですか？」とももちろん皆さんと同じように伺っていますが20年前、初々しい歯科衛生士だった私は在宅でも同じように患者さんに声をかけていた記憶があります。

日衛の在宅療養指導・口腔機能管理認定歯科衛生士として在宅診療に関わるようになり最後の一口まで携わる経験をさせていただいた沢山の患者さんが未熟な私に教えて下さった事は、余命幾ばくも無く在宅や病院、施設などで生活する方、難病で徐々に経口摂取ができなくなる方やご家族にとっては「今日のこの大切な一口で何をどのくらい美味しく食べられたのか」がもの凄く大切に頼みの綱となるのが歯科医師・歯科衛生士なのだ！という事です。本当に歯科衛生士って素晴らしい職業ですよね！！もっと食レポ力も付けようと思っています。

地域歯科保健指導者委任状

栃木県歯科衛生士会より依頼の歯科保健事業を担当するためには、地域歯科保健指導者委任状が必要です。

栃木県歯科衛生士会 地域歯科保健指導者委任状申請書

令和3年度以下の活動を行いましたので、令和4年度の地域歯科保健指導者委任状を申請します。

支部名

会員番号

氏名

印

必須項目

本会主催生歯研修会

第1回・第2回・第3回

参加した回に○印を記入

情報交換会

第1回・第2回

参加した回に○印を記入

支部会

参加回数

回

出席した回数を記入

支部会開催回数

回

支部会開催回数は支部長に確認

資質向上

歯科衛生士認定

認定名と取得年度を記入
日本歯科衛生士会以外でも可

支部主催研修会

本会以外の
(Web等での)
研修会・学会の参加

参加した研修会名・日時・演題等を記入
5回以上参加されている方は主なものをご記入して下さい

学会発表

学会名・発表、共同演者の区分を記入

地域活動

母子・乳幼児

令和3年4月以降に担当した事業の延べ回数を記入

学校

を記入

地域歯科
事業の実
践

介護予防・高齢者

3月の見込み回数も含めて記入可。

成人

事業所健診

その他

貢献

役員

本会又は支部での役職名

ボランティア

歯科保健での無償活動、日時・活動名を記入

地域歯科活動調査

(該当するところを○で囲んでください)

①地域歯科活動への協力 ・協力できる →②③にも回答
年度内で変更の場合は支部長へ連絡・協力できない (理由: ・勤務の状況 ・家庭の事情 ・その他)

②協力できる曜日 ・月 ・火 ・水 ・木 ・金 ・土 ・日

③協力できる分野 ・母子 ・保育園幼稚園 ・学校 ・障がい児者
・高齢者要介護者 ・介護予防 ・成人 ・事業所健診

※申請には基本的に必須項目が満たされていることが必要ですが、必須項目が不足する場合でも、資質向上に努め、実績のある方については申請を可能としました。

支部長

地域担当理事

理事会

会長

県民の口腔の健康維持増進を目的とする地域歯科保健指導事業において、積極的かつ会の代表としての責任をもってかかわれるようにするために、栃木県歯科衛生士会では、歯科衛生士としての資質の向上と倫理的意義を高めるため研修会を行っています。

このような本会研修会、情報交換会、各支部定例会の出席や、認定歯科衛生士の取得や各種認定の取得、本会以外の研修参加、公衆衛生の活動など個人での活動を、申請していただき委任状の授与となります。

令和4年度委任状授与者

県北支部	宇都宮支部	日光支部	鹿沼支部	下都賀支部	芳賀支部	小山支部	足利佐野支部
17名	16名	6名	4名	7名	4名	13名	16名
船山由利子	南 木 昭 代	我 妻 裕 子	木 村 明 子	上 岡 知 恵	大 塚 則 子	鈴木美弥子	慶 野 敬 子
丸山三佐子	戸 井 田 紀 子	加 藤 陽 子	保 坂 弥 生 子	平 本 久 美 子	小 高 百 合 子	岩 木 瑞 恵	兵 藤 淳 子
大金あゆ子	長 谷 規 子	渡 辺 理 恵	福 田 志 津 香	山 名 洋 子	粕 谷 希 望	野 上 栄 子	塩 谷 裕 子
牛 山 美 江	渡 邊 敦 子	佐々木涼子	佛 田 康 子	吉 澤 久 美 子	秋 元 麻 美	大 野 真 智 子	林 幸 子
桜 岡 美 穂	神 戸 睦 月	芳 野 眞 知 子		篠 崎 香 織		矢 板 橋 幸 子	堀 越 悦 代
室 井 美 佳	星 野 小 百 合	福 田 久 美 子		窪 佳 恵		田 嶋 友 香	茂 木 節 子
松 枝 美 由 紀	飯 野 江 理 子			吉 野 準 子		横 井 希 光 子	中 村 美 智 子
和 田 の り 子	井 坂 稔 子					椎 橋 桂 子	神 谷 祐 子
月 井 透 江	安 野 英 子					毛 利 千 栄 子	亀 山 咲
品 田 ゆ か り	関 根 久 恵					金 子 ひ と み	柏 瀬 典 子
小 野 信 子	川 上 美 佐 子					関 口 智 恵 子	赤 間 多 恵 子
柿 沼 さ お り	兼 岡 涼 子					東 谷 穂 菜 美	板 橋 有 里
加 藤 望	東 陽 子					谷 中 桃 子	青 木 美 樹
佐 藤 真 紀 子	石 崎 朋 子						尾 花 美 奈 子
石 川 麻 美	鈴 木 由 香						杉 田 沙 織
澳 原 京 子	神 永 弘 美						武 井 こ ず 恵
熊 田 明 日 香							

- 13 -

地域歯科保健事業の報告

委任状を授与された栃木県歯科衛生士会員が行った地域歯科保健事業
(延べ実施回数 953 回 延べ歯科衛生士数 1406 人)

乳 幼 児 健 診	那須町・大田原市・那須塩原市・さくら市・那珂川町 那須烏山市・矢板市・塩谷町・市貝町・茂木町・日光市 栃木市・野木町・小山市・下野市・佐野市
育 児 教 室・ 相 談	大田原市・さくら市・那珂川町・那須烏山市 塩谷町・栃木市・小山市・佐野市
保育園・幼稚園指導	那珂川町
フ ッ 素 塗 布 事 業	高根沢町
学 校 歯 科 保 健 事 業	那須町・大田原市・那須塩原市・さくら市・那須烏山市 壬生町・上三川町・真岡市
介 護 予 防 教 室	那須町・那須塩原市・那珂川町・市貝町・茂木町・日光市 鹿沼市・宇都宮市・栃木市・佐野市・足利市
成人歯科健診及び結果説明	那須町・那須烏山市・日光市・佐野市
歯科医師会協力事業	とちぎ在宅歯科医療連携室運営推進協議会
事 業 所 歯 科 健 診	6 事業所
そ の 他	医療介護関係者研修会・栃木県歯科保健推進協議会 他

栃木県歯科衛生士会支部紹介

支部長会

日 時 令和3年7月4日（日）午後2：00～午後3：00
 開催方法 Web（Zoom）
 出席者 中村・原・大塚・鳩山・渡辺・金子・品田・兼岡・福田・若林
 堀越・上野・佐藤
 神戸（宇都宮）・小野（県北）・大野（小山）・吉澤（下都賀）
 小高（芳賀）・保坂（鹿沼）・福田（日光）・神谷（足利佐野）
 塩谷（連盟）

内 容

- * 本会・担当理事からの連絡
- * 各支部からの本会に対しての要望について
- * 令和2年度の支部活動報告
- * 令和3年度支部活動計画

支部活動が円滑に運ぶよう、年に1度開催しています。
 ☆新入会員があった場合は、支部長へ随時連絡いたします。皆さまで支部活動へのお誘いをお願いします。

支部 おすすめスイーツ



各支部からのおすすめスイーツ情報です。お出かけの際の参考にしてみてください(*^^*)

● 足利・佐野支部 ●

★支部会員数 21 名

★年会費 1,000 円

★令和3年度主な活動報告

定例会：6月 6日 場所 足利市生涯学習センター

時間 13：30～15：00

9月22日 WEB 会議（Zoom）

時間 20：00～21：30

12月 5日 場所 足利市生涯学習センター

時間 10：00～12：00

足利市：地域ケア会議・出前講座

佐野市：9ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児健診、歯科相談、育児相談

防災訓練：災害時連絡網確認訓練

研修会：DH-KEN を各自で2項目以上受講（『災害歯科保健』は必須項目）

災害歯科保健活動用グッズを購入

ベスト、バッグ、非接触型体温計、パルスオキシメーター

ウエストポーチ、ヘッドライト、除菌ウェットシート

★今後、支部でやりたいこと

令和3年度は中止となっていた口腔ケア実技セミナーや研修会を、コロナ対策をしたうえで実施したいと考えています。後期高齢者歯科健診事業においては、栃木県歯科医師会主催の研修会で知識を習得し、会員同士で実際の健診のシミュレーションをするなどして資質の向上に努めたいと思います。

★支部 PR

足利・佐野支部は、幅広い年齢層の会員がそれぞれの専門分野で活躍しています。顔を合わせての定例会の他に Zoom での定例会を行いました。WEB 会議にも慣れてきたので、今後はオンラインを活用しながら情報交換をしていきたいと思えます。気軽に参加できる会です。興味のある方、入会をお待ちしております。

★新入会員紹介

舟腰文緒（会員歴1年 歯科衛生士歴30年）

昨年4月より入会させて頂きました。衛生士歴はもうすぐ30年になります。時が経つ速さに驚きです。高齢者や障害者の事について勉強したいと思いい入会しました。よろしくお願いします。

支部長

神谷 祐子



定例会



災害グッズ

小山支部

★支部会員数 17 名

★年会費 2,000 円

★令和3年度主な活動報告

定例会5回（4・6・10・12・3月）日曜日AM10:00～

6月からはZoom開催

乳幼児健診（小山市・下野市・野木町） 介護予防教室 地域歯科保健活動

支部研修会

12月の定例会に『在宅歯科診療での口腔健康管理と症例紹介 講師 椎橋桂子さん』研修会を行いました。実際の在宅診療でどんなことを行っているのか、具体的に症例を見ながら解説して頂きました。現場の生の写真やお話は大変参考になり未経験の方にとって少しでも不安が解消されたのではないのでしょうか。

★今後、支部でやりたいこと

コロナ禍で乳幼児健診が中止になったり、集団でのブラッシング指導がなくなりました。対面での指導に代わる配布資料を作成する予定です。Zoomなどを活用した勉強会も開催予定です。

★支部PR

活動が活発な支部ですが、会員同士が顔を合わす機会が減ってしまいました。今後もZoomを併用予定なので、忙しくても遠くても短時間でも参加できます。みんなでワイワイスキルアップしませんか？

★新入会員紹介

毛塚由美子（令和4年4月入会 歯科衛生士歴26年）

地域の方の生活の近いところで寄り添う支援に携わりたいと思い入会させて頂きました。口腔の健康を通し心身の健康もサポートできるよう、会員の皆様と連携しながら自分のできることで貢献していきたいです。

支部長

大野 真智子



支部会



小山支部スクラブ

下都賀支部

★支部会員数 13 名

★年 会 費 1,000 円

★令和3年度主な活動報告

- ・定例会（保健センターで2歳検診後）
- ・育児教室・相談
- ・乳幼児健診（1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児）
- ・就学時健診
- ・むし歯ゼロ事業（1年生）
- ・介護予防教室（一般・オーラルフレイル・脳活）

今年度は、栃木県歯科医学会発表「むし歯ゼロ事業」について実施報告をするため、担当者で集まり準備をしました。媒体の写真や指導の写真などを集め、決められた時間内で発表できるようにまとめました。また、発表後に抄録も作成しました。

★今後、支部でやりたいこと

- ・支部勉強会を再開する
- ・災害グループLINEの体制を整備する
- ・Zoom会議の環境を整備する

★支部PR

地域歯科保健活動を担当できるDHが限られているのが現状です。DHの資格をお持ち方どなたでも募集してます。一緒に勉強し活動の場を広げてみませんか。連絡お待ちしております。

★今後の抱負

両角恵美（会員歴7年 歯科衛生士歴7年）

昨年度は生活習慣病予防認定歯科衛生士にチャレンジしました。今後は、念願の医科歯科連携・口腔機能管理の認定歯科衛生士取得を目指したいです。病院勤務の為、なかなか実現できておりませんが地域歯科活動にも参加していきたいです。



歯科医学会発表



定例会

鹿沼支部

★支部会員数 5名

★年会費 4,000円

★令和3年度主な活動報告

- ・定例会・臨時歯科衛生士会 5回
- ・Zoom 定例会 1回
- ・自立支援チーム会議 助言者として 3回 (Zoomにて)
- ・成人歯科健診事業 (歯と口のいきいき健診) 7回 (うち2回中止)
- ・市民公開講座 後援
- ・鹿沼歯科医師会との合同委員会

支部長

保坂 弥生子

★今後、支部でやりたいこと

- ・支部では定期的に AED 研修会を受講していましたが、コロナ禍で見送ってきました。今後、受講再開の機会があれば災害時等の取り組みとして備えたいと考えています。

★支部 PR

- ・鹿沼市 ＊在宅要介護高齢者等歯科保健推進事業連絡調整委員会
＊健康づくり推進協議会
- ・在宅医療と介護を考える会
などへの参加で多職種・他職種の皆さんとも連携の場を得ることができています。

★今後の抱負

佛田康子 (会員歴 10 年 歯科衛生士歴 48 年)

長い大学病院での仕事から、学生指導や、施設訪問診療・包括事業へと働き方を変えて4年が経ちました。自分自身が前期高齢者となり、より身近に対象者と向き合っています。学生から初心を、対象者からは元気を貰い、支部の皆さんと共に地域貢献を続けたいと思います。



市民公開講座



それぞれ自宅で忘年会



パンフレット作りしました

日光支部

★支部会員数 8名

★年会費 3,600円

★令和3年度主な活動報告

- ・定例会：日曜日 午前10：00～12：00
- ・場所：日光市今市コミュニティーセンター
- ・親睦会：年1回（新年会又は忘年会）

定例会4回（10月・12月・1月・3月）

新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、対面での定例会を開催し、情報交換会を行いました。

支部長

渡辺理恵

新支部長

福田久美子

★今後、支部でやりたいこと

フレイル予防や乳幼児健康診査などの事業に従事する上で、他職種との連携は必須です。今後、多職種との情報交換会や勉強会、意見交換会など行えればと思っています。また、コロナ前には親睦会として年1回の食事会と、研修旅行を企画し、日帰り研修旅行に行っていました。地元日光市内の散策を企画していましたが、コロナにより実現できていません。コロナが落ち着いたらぜひ研修旅行、そして食事会ができたと思います！

★支部PR

人数は少ないですが、人数が少ないからこそコミュニケーションが図れ、お互いの意見交換や悩みごとを話せる支部です！それぞれの立場から情報も共有し、会員同士協力しながら、活動しています。

★今後の抱負

福田久美子（会員歴6年 歯科衛生士歴14年）

入会して6年、新しい知識や、活動の場が増えています。今年度は後期高齢者歯科健診事業に向けて研修が始まりました。しっかり従事できるよう、研修や、情報交換等で研鑽を積みたいと思います。



日光支部オリジナル・ポロシャツ & トートバック
地域歯科保健活動時に使用しています！

● 宇都宮支部 ●

★支部会員数 49 名

★年会費 500 円

★令和3年度主な活動報告

令和3年度研修会を1月に予定していましたが、蔓延防止等重点措置が出たため中止
支部役員会は、LINE・少人数での会議を開催

支部長

神 戸 睦 月

★今後、支部でやりたいこと

令和2・3年度と2年続けて研修会を開催できなかったのも、今年は必ず開催したいと考えています。Web開催も視野に検討しています。また、会員数が49名と多いのですが、コロナ下ということもあり顔を拝見したことがない方もいます。研修会の後、気軽に参加いただけるような交流会も考えています。

★支部PR

宇都宮支部は会員数が多く幅広い年齢層で構成されています。若い方から、経験豊富な大先輩まで、いろいろな話を聴くことができます。知識を深めて広げていきましょう。

★新入会員紹介

和田美佳（会員歴1年 歯科衛生士歴19年）

結婚を機に栃木県に移住、子育てで10年程のブランク後に復職しました。改めて歯科衛生士として働けることに幸せを感じております。宜しくお願い致します。



支部総会

● 芳賀支部 ●

★支部会員数 4人

★年会費 1,000円

★令和3年度主な活動報告

市貝町2歳児歯科健診、3歳児健診、介護予防教室

茂木町1歳6ヵ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診

★今後、支部でやりたいこと

乳幼児健診の出務が多いので、保育士さんとの情報交換会を開催して年齢に応じた接し方や絵本の読み聞かせ等を学びたいと思います。

★支部 PR

現在の会員数は4名と少人数で活動していますが、年4回行なっている定例会も全員の予定を合わせて行い、情報を共有することができています。

会員全てが勤務DHなので、地域歯科保健活動の出来る会員が限られているため他支部の方々のご協力をいただき活動しているのが現状です。

★今後の抱負

大塚則子（会員歴30年 歯科衛生士歴25年）

現在勤務先の歯科医院で院内セミナーがあり「あなたのファンはいますか？」という話があり、私はあまり思い浮かびませんでした。担当制でメンテナンス行っていますので、ひとりでも多くの私のファンが増えるように努力していきたいと思っています。

支部長

小 高 百合子

新支部長

秋 元 麻 美



食生活改善推進員リーダー研修会



支部会 Zoom

県北支部

★支部会員数 22 名

★年会費 2,000 円

★令和3年度主な活動報告

- ・定例会3回（4/8・4/11・11/26）会場 西那須野公民館
- ・地域歯科保健活動（各市町）
- ・令和3年度支部研修会は延期

★今後、支部でやりたいこと

- ・会員でのミニ発表会や他職種の方の講義
- ・令和3年度に予定していた支部研修会の開催
- ・Zoom 定例会での情報交換や意見交換
- ・コロナ禍での地域歯科保健指導（学校歯科）において、パワーポイントを取り入れた指導
- ・コロナ禍で中止になっていた、レクリエーションや忘年会などを状況に合わせて開催する

★支部 PR

広い地域にて活動している県北支部は、乳幼児健診や介護予防教室、結果説明会、学校指導など様々な事業に執務しています。風通しの良い支部で、チームワークもバッチリです。チーム県北支部として、一緒に活動してくれる方をお待ちしています！

★今後の抱負

石川麻美（会員歴7年 歯科衛生士歴14年）

私の今後の抱負は、歯科麻酔認定歯科衛生士の取得です。全身麻酔での診療に携わっているので、歯科医師や歯科麻酔科の補助が的確に出来て、治療がスムーズに進められるようにサポート出来る歯科衛生士になりたいです。

松枝美由紀（会員歴23年 歯科衛生士歴23年）

私の今後の抱負は、自分自身の知識を高めることです。高齢者施設で口腔ケアに携わる中で、口腔ケアの必要性をととても感じています。しかし、携わる中で様々な課題を実感しました。多様な知識を持つことで、さまざまな課題に対応できるよう積極的に研修会などに参加し、スキルアップに励んでいきたいです。



支部会

栃木県歯科衛生士会 令和4年度 役員



会長
中村 美智子



副会長
原 瑞穂



副会長
大塚 則子



総務（会計）
金子 ひとみ



総務
渡辺 理恵



総務
東谷 穂菜美



学術
若林 宣江



学術
両角 恵美



学術
赤間 多恵子



地域
品田 ゆかり



地域
兼岡 涼子



地域
福田 志津香



広報
石川 麻美



広報
戸井田 紀子



監事
長谷 規子



監事
星野 小百合



顧問
林 幸子

日本歯科衛生士会

代議員 中村 美智子

理事 長谷 規子

選挙管理委員 大塚 則子

栃木県歯科衛生士連盟



会長
塩谷 裕子



副会長
山名 洋子

栃木県歯科衛生士会への連絡・問い合わせ

HP <https://tochigi.jdha.or.jp/> E-mail tochigi@jdha.or.jp

住 所 〒 320-0047 栃木県宇都宮市一の沢 2 丁目 2 - 5 栃木県歯科医師会館内
電 話 028-647-2084 FAX 028-666-0623

- ・事務局員不在の場合は、留守番電話又はFAXにてメッセージを残してください。
もしくは上記メールに送信して頂いても構いません。後日、連絡いたします。
- ・支部会への見学、詳細につきましては、事務局へご連絡ください。

ご 案 内

栃木県歯科医師会歯科衛生士無料職業紹介所をご存じですか？

もう一度、歯科衛生士の資格を活かしてみませんか！

お気軽に当紹介所にお問い合わせください。



住所 〒 320-0047 栃木県宇都宮市一の沢 2 丁目 2 - 5

電話 028-648-7000

HP <https://tochigi-da.or.jp>

お問い合わせ：月曜日～金曜日 9：00～17：00

《編 集 後 記》

令和3年度も『新型コロナウイルス』に奔走された1年であったと思います。

研修会や情報交換会もWEB開催となり、時代とニーズに合わせて便利に変化しています。

支部での活動等が自粛傾向にある中、原稿依頼を快く引き受けてくださった皆様には、心より感謝申し上げます。

そして、来年こそ普通の日常生活が送れるようになって欲しいものです。

＊ご意見・ご感想を事務局へメール・FAX等でお寄せ下さい。原稿の持ち込みも募集しています。

広報 石川・戸井田

有効成分ヒノキチオールを含む口腔ケア用ジェル



はちみつ風味
90g/30g

ライム風味
90g/30g

りんご風味
90g/30g

90g
スクイズ
ボトル
新発売

薬用 口腔ケア用ジェル
リフレケア

医薬部外品 口腔ケア用ジェルハミガキ

90g 希望小売価格 2,200円(税抜) / 30g 希望小売価格 1,100円(税抜)

効能
効果

- ・口臭の防止
- ・歯肉炎、歯周炎の予防
- ・むし歯を防ぐ
- ・口中を浄化する
- ・口中を爽快にする

特長

- ・有効成分ヒノキチオールが口臭を防ぎ、歯周病(歯肉炎・歯周炎)を予防します
- ・3つの無配合(研磨剤・発泡剤・エタノール)でやさしい使いこごちです
- ・湿潤剤を配合したのびのよいジェルでブラッシングも容易です
- ・はちみつ・ライム・りんごの3種類から好みに合わせて選べます
- ・スクイズボトル(大容量90g)・ポンプボトル(30g)それぞれ用途にあわせてお選びいただけます

研磨剤
発泡剤
エタノール
無配合

ミスト状のジェルで、
お口うるおう。



口腔ケア用スプレー

リフレケア ミスト

口腔化粧品

50mL

リフレケアミスト ライム風味
希望小売価格 1,500円(税抜)



水とリフレケアミストの
粘度比較
ミスト状のジェルが、口腔内のすみ
ずみまで付着するので乾きを
うるおすチカラが長続きします。

お問い合わせ先:
イーエヌ大塚製薬株式会社

0120-11-4327
(受付時間: 9時から17時 土・日・祝日・弊社休日を除く)

製造販売 イーエヌ大塚製薬株式会社 岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5
販売者 雪印ビーンスターク株式会社 札幌市東区苗穂町6-1-1

お口のトータルケアに
ヒノーラ 薬用ハミガキ
口腔ケア用ジェル
抗菌・抗炎症成分配合

医薬部外品



販売名
大塚口腔ジェルN



販売名
大塚口腔ジェルS

容量 25g

抗菌成分: ヒノキチオール 殺菌成分: IPMP®
抗炎症成分: グリチルリチン酸ジカルウム
※イソプロピルメチルフェノール

お口にうるおいを与える
ヒノーラ うるおいジェル

口腔化粧品



販売名
大塚口腔ジェルWN



販売名
大塚口腔ジェルWS

容量 80g

製造販売元
日本ゼトック株式会社
東京都新宿区西新宿1-26-2

発売元
イーエヌ大塚製薬株式会社
Otsuka 岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5

販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

販売提携
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

お問い合わせ先
イーエヌ大塚製薬株式会社 コールセンター
☎ 0120-014-010 <'20.08作成>



Good Teeth, Better Life

歯科医療のトータルサポートカンパニー

■ HENRY SCHEIN®

J●East ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地 37-6	TEL:028-613-5858	厚木支店	厚木市酒井 2087-14	TEL:046-228-5550
水戸支店	水戸市白梅 2-8-18	TEL:029-225-6543	大宮支店	さいたま市見沼区東大宮 7-41-1	TEL:048-688-1740
松戸支店	松戸市幸谷 1504-4	TEL:047-345-3131	盛岡支店	盛岡市本宮 6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
千葉支店	千葉市中央区浜野町 879-1	TEL:043-305-1182	東大和支店	東大和市立野 3-640-1	TEL:042-590-5770
上野支店	台東区台東 2-23-7	TEL:03-3832-8241	つくば営業所	つくば市花室 940-6	TEL:029-863-0720
古河支店	古河市下山町 9-60	TEL:0280-30-1582	仙台支店	仙台市若林区荒井 5-7-6	TEL:022-794-7066
福島支店	福島市鎌田字卸町 4-1	TEL:024-552-1161	新潟支店	新潟市中央区出来島1-1-19	TEL:025-283-2500
世田谷支店	世田谷区玉川台 2-11-17-101	TEL:03-5491-7595	上越営業所	上越市下門前17-1-1F-A	TEL:025-531-2203
練馬営業所	練馬区豊玉北 4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180	長岡営業所	長岡市南七日町79-15	TEL:0258-21-0727
横浜支店	横浜市磯子区中原 2-1-19 1F	TEL:045-770-4182	長野営業所	長野市真島町川合335-1-1F-A	TEL:026-291-1201
前橋支店	高崎市京目町 176-2	TEL:027-350-8241			

信頼の環・Best of Partner として



このあどけない子供たちの眼に映る
豊かな未来を実現するために……。

私たちアマガイは、
次世代サイズで医療環境を考え、
望まれる最新鋭の歯科器材と
最大限の気配りをお届けする
ホットラインとして
貢献してまいります。

AMAGAI
<http://www.amagai.co.jp/>



株式
会社

歯科器材の総合商社
アマガイ

〈宇都宮オフィス〉〒321-0925 栃木県宇都宮市東築瀬 1-30-8
TEL.028-637-8611/FAX.028-637-8666
〈水戸オフィス〉〒311-4143 茨城県水戸市大塚町 1863-118
TEL.029-253-2555/FAX.029-253-2556
〈さいたまオフィス〉〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉 5-4-21
TEL.048-797-7762/FAX.048-797-7785

歯科医が一番最初に気がつくかもしれない全身性疾患のひとつ

その「乳歯の早期脱落」は本当に外傷が原因ですか？

「低ホスファターゼ症(HPP)」かもしれません

HPPは、アルカリホスファターゼ(ALP)の活性が遺伝性要因で低くなることによって発症する代謝性疾患です。乳歯の早期脱落が初発症状となることも少なくありません。

HPPの患者さんにみられる歯科症状

乳歯早期脱落 (1～4歳)

●好発部位:下顎のA, B

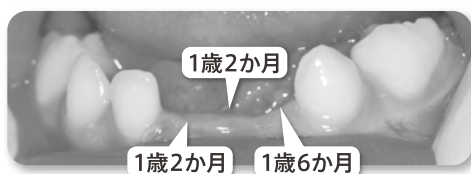
歯根部を残した 形状での脱落

脱落歯近接の 乳歯の動揺

歯科症状がきっかけとなってHPPの診断に至った例

紹介する症例は臨床の一部を紹介したもので、すべての症例が同様な結果を示すわけではありません。

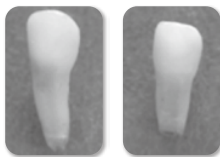
Case 1: 1歳7か月 男児



参考

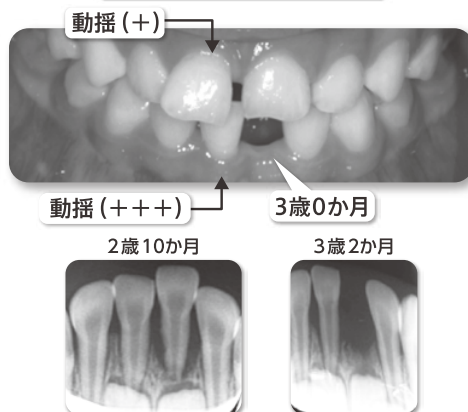


歯根が吸収され自然脱落した正常乳切歯*



持参された脱落した乳歯

Case 2: 3歳3か月 女児



Citation: Okawa R, Kitaoka T, Saga K, Ozono K, Nakano K (2016) Report of Two Dental Patients Diagnosed with Hypophosphatemia. J Clin Case Rep 6:704. doi:10.4172/2165-7920.1000704
※提供: Whyte MP., Shriners Hospitals for Children, Research Center

このような症状に遭遇したら、「HPP疑い」として小児科医へ紹介してください。

HPPは稀な疾患ではありますが、進行性の疾患です。

将来、全身症状があらわれる可能性があります。

HPPガイド まだ3歳なのに乳歯が抜けた!?

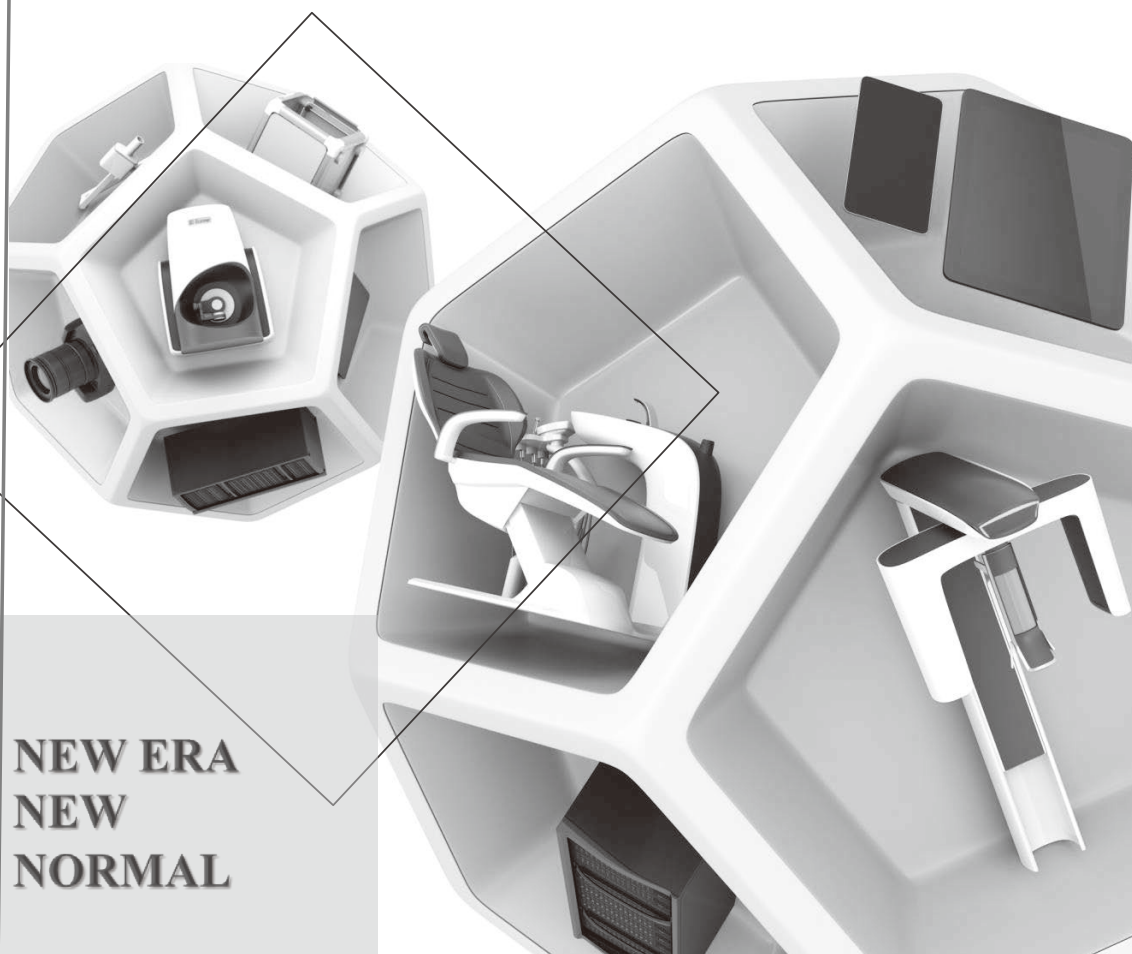
<https://hpp-life.jp/milk-tooth>



お問い合わせ | アレクシオン ファーマ合同会社 メディカル インフォメーション センター
受付時間: 9:00～18:00(土、日、祝日及び当社休業日を除く) フリーダイヤル 0120-577657

ALEXION®
AstraZeneca Rare Disease

2021年8月作成
HPP-AD5(2)-2108



**NEW ERA
NEW
NORMAL**

歯科医療現場をトータルのにサポートする
Dental general trading company

株式会社ハギノヤは、歯科商材の販売から開業、メンテナンスまで、歯科医療現場をトータルのにサポートする歯科総合商社です。

1937年創立以来、お客様との対話を大切に、臨床で望まれる様々なニーズを的確にとらえ、素早く、そして柔軟なサービスを心掛けております。

「笑顔でいきいきと暮らす」

口腔ケアで心身の健康を維持するために、歯科医療に携わる皆様と患者様の健やかな毎日を願って、株式会社ハギノヤは安全で安心な商品と良質なサービスをご提供いたします。



株式会社 ハギノヤ

〒328-0034 栃木県栃木市本町18-30
TEL:0282-22-1466 (代) FAX:0282-23-8853

<http://www.haginoya.co.jp>
Mail:sika-haginoya@cc9.ne.jp